



〒010-0521 男鹿市船川港

南平沢字上大畑台 30

男鹿市立男鹿南中学校

TEL 0185-23-3241

FAX 0185-24-4947

第216号

「チームの力は、個人の力を超えた！」

～平昌オリンピックを通して見えた教訓と日本選手のすばらしさ～

校長 栗 森 貢

平昌オリンピックが、今まさに真っ盛りを迎え、日本のメダル獲得数が過去最高になったとニュースで伝えていました。今年は、10～30代の若手の活躍が目を引きました。

特に興奮したのは、スピードスケート女子 500m で金メダルを取った小平奈緒選手と女子団体追い抜き（パシュート）の日本チームの金メダルを取った場面でした。小平選手は、短距離では敵なしと言われるぐらいワールドカップや世界選手権で連勝をしていた人ですが、スケートは一発勝負で、INかOUTでも違うし、前の人たちの滑りでプレッシャーがかかるという過酷な面があります。失敗はできないという中にあって、あの完璧な滑りをやってのけオリンピックレコードを出し優勝したのです。競技後の韓国の2位の選手に言葉を掛けて健闘を称えたシーンも賞賛の声が多かったと聞いています。受け答えも沈着冷静で、知性と人間性豊かなスポーツマン精神に感心しました。

女子パシュートでは、テレビの前に釘付けになり、オランダに勝った時には、勝利の雄叫び張り上げていました。一糸乱れぬ美しいフォーム、3人ともメダ

リストという強豪オランダを相手に、リードしたりされたりという駆け引きの中でも冷静に力をため、ラスト2周で再びリードし、最後は約2秒近くの差を付けて優勝しました。私は、ひたむきな練習とチーム力によりつかみ取った優勝だなと思いました。個人の力が高くないとチーム力は上がらないとは思いますが、個人の力がトップでなくてもチーム力で勝てることあることを日本の女子チームが立証してくれました。

オリンピックから私が学んだことは、10代や20代の若い人達の爆発的なエネルギーと本番で力を発揮する可能性がとても高いということです。二つめは、小さい頃からコツコツと努力し、よき指導者の下でたゆまぬ努力を続けてきたことです。もう一つは、記者の質問に対して受け答えが実にしっかりしていて冷静に答えていることです。「世界的なアスリート」と呼ばれる人達に共通なことは、こういう点でないかと思います。競技レベルにおいて超一流を目指す気持ちとたゆまぬ努力、そして人としての道徳性の豊かさという日本人の世界に誇れる素晴らしさを見ました。

～読書のすすめ～

本校では年度当初から「朝読書」の時間を設けて、読書に親しむ機会を増やしています。しかし、12月に行った秋田県学習状況調査で、本校生徒は「読書は好きか？」の質問に対し、「とても好き・どちらかといえば好き」と答えた生徒が、1年：64.8%（県平均-17.1%）、2年：63.4%（県平均-19.2%）、と20ポイント近くも低い状況です。

月1冊から3冊くらいは読むようにしましょう。本校の図書コーナー（食堂隣）には、新刊図書がたくさんあります。《最近読んだ本》「君たちはどう生きるか」（吉野源三郎）
☆自分の生き方を決めるのは？



【入試状況】^{けんこんいってき} 乾坤一擲 ^{てんてき} 点滴石 ^{うが} も穿つ！

合格・進学決定人数		一般受験者人数	
秋田高専	1	男鹿海洋	4
男鹿海洋高	3	男鹿工業	3
男鹿工業	2	秋田西	1
秋田工業	2	金足農業	3
明桜高	4	秋田	1
国学館	1	秋田北	4
専大北上	1	秋田南	4
合計	14	秋田中央	2
合格を決め、進学先を決定した生徒が38名中		秋田工業	2
		合計	24

14名います。そして、3月6日(火)の公立高校一般選抜に挑戦する生徒が24名います。日々の努力の積み重ねが必ずや報われ、合格すると信じています。

“為せば成る”

